

2022年
春号

はやしのはなし

編集・発行 広報委員会

理念

Heartful & Healing Hospital ~ハートフル アンド ヒーリング ホスピタルとして~
私たちは常に優しさと思いやりの心もち、良質で信頼される医療の実践により心から癒される病院であることを目指します。

当院職員より25の応募！

はやしの写真コンテスト2022

テーマは「はやしのいやし」



2021年から行っている職員による写真コンテスト。2022年のテーマは「はやしのいやし」でした。様々な角度から”癒し”を表現しています。まずは受賞作品からご紹介いたします！



タイトル：「はやしのじかん」

氏名：笠木 梢（地域医療連携室）

コメント：病院の歴史を刻む、大きなノックの古時計。

ポーン、ポーンという懐かしい音に癒されます。



理事長賞

審査員）花田 博実 理事長

今回、2回目のテーマは「はやしのいやし」でしたが、昨年45周年ということもあり、この写真を見たときに林会長から聞いた開業当時のいろいろなエピソードを思い出し、そんないろいろな時代に寄り添いながら一緒に時を刻んできたんだろうと思うと感慨深くなりました。何百回とポーン、ポーンというその音色を響かせて患者さんやそのスタッフを癒していたんだろうと思うと、わたし自身も癒されました。



タイトル：「癒しの空間」

氏名：北園 直人（リハビリテーション課）

院長賞

審査員）美園 俊明 院長

いつまでも文字に興味のある人は認知症に縁がない。
新聞を片手に、月刊誌や週刊誌の発売日を楽しみに待つ高齢者は元気である。
身にも心にも余裕があるから、健やかに眠り文字に目を通す。
そんな癒しの空間が流れている一枚である。
癒されたのは誰なのか。シャッターを切った人なのか。写真の中の無意識の人か。散らされた空間だが構図はまあ良い。
今回はテーマに沿って考えてみた。



はやしのスペシャルごはん

新コーナー！
当院の調理スタッフが
心を込めて作る
行事食をご紹介します♪



～MENU～

- ・ちらし寿司
- ・磯部揚げ盛り
- ・旬野菜の炊き合わせ
- ・清汁
- ・苺と桜の塩漬けムース

ひなまつりメニュー

春号では、3月3日のひな祭りの行事食の紹介をします。

かつてお祝い事に提供されていた「なれ寿司」だが、だんだん「ばら寿司」へと変化していき、彩の良い「ちらし寿司」が好まれるようになったようで、当院でも毎年3月3日は昼食にちらし寿司を手作りしております。

ちらし寿司の具は、県産の筍、人参と椎茸、鶏のモモ肉の小間切れを甘辛く煮て、患者様が食べやすい様に寿司飯と合わせてあります。盛付けは、錦糸卵とブロッコリースプラウト、寿司酢に漬けた山芋と人参を花型に切って彩りよく飾りました。地域によって呼び名は様々ありますが、ばらちらし寿司の要素が多い主食になりました。主菜は海老と白身魚とアスパラの磯部揚げで、副菜に旬の菜の花とツワブキ、南瓜・茄子と、ふんだんに野菜を使用した炊き合わせになっております。汁は口当たりの良い卵豆腐と花魁、三つ葉が入っており具沢山の爽やかな清汁です。

最後は手作りデザートで、こちらも旬の美味しい苺「さがほのか」と桜の花の塩漬けを飾って、季節感を出してみました！ひな祭りの行事食で、皆様が「春」を感じていただけたら嬉しいです。

(栄養課 調理師 山田 真吾)

はやしの春散歩

桜が毎年
美しく
咲きます

西郷さんの四年間をここで暮らしていた



西郷武屋敷跡

鹿児島市武2丁目
当院から見える位置にある公園です。

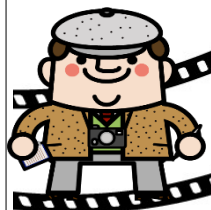
1873年、西郷隆盛は朝鮮への使節派遣の考えに反対されて鹿児島に帰ります。それから西南戦争が起きる1877年までの4年間を暮らしたところです。ここには西郷隆盛（南洲）と菅実秀（臥牛）が対話している座像があり、西郷屋敷において両翁が親睦を深め「徳の交わり」を誓い合ったことを記念して制作されたものです。臥牛翁は庄内藩（山形県）の有力な家老でした。敷地内には当時西郷が使用していた井戸も残っています。生活用水から花園への敷水まで、屋敷での給水はすべてこの井戸が使用されました。



(記事：地域医療連携室 笠木 梢)

山口写真館

あの人気コーナーが復活！
当院職員の山口が現場で撮影した
季節を感じる景色やお祭りなど、
写真・感じたことを記しています。



鹿兒島に春の訪れを告げる初午祭が鹿兒島神宮で行われました。コロナ禍、多くの行事が中止される中、2年ぶりに鈴かけ馬が奉納されました。参道には新型コロナウイルス感染防止の為、来場・見物の自粛の立て札が見られる中、馬の背は鮮やかな花飾りで彩られ、太鼓や三味線のリズムに合わせて踊る姿に鹿兒島の早春を感じる一日でした。午後からは、加治木町木田に戻り集落を練り歩きました。田の神さあも嬉しそうに豊作を約束してくれました。

初午祭

鹿兒島神宮

太郎太郎祭

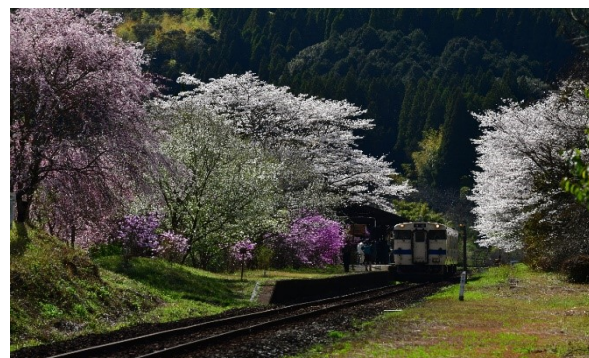
羽島崎神社

いちき串木野市の羽島崎神社で教え年5歳の男児の成長を願う「太郎太郎祭り」がありました。「田打ち」と「船持ち」で豊作と豊漁を祈る祭りで「五つの祝い」という特徴のある祭りです。強風の中、港の船には大漁旗が揚げられ、大きくなびいていました。田打は、テチョ（おやじ）と太郎、コッテ牛が登場し、田起こしを行い子供たちが苗を植える様子を演じます。コッテ牛のマスクが印象的でした。田起こしの様子を即興でテチョ、太郎、コッテ牛が面白おかしく演じます。船持ちは、豆絞りの手ぬぐいをかぶり、責いたすきかけた男の子が船を持ち境内を回りました。



隼人の風

ラストラン



鹿兒島中央駅と湧水町吉松駅を結ぶ、観光特急「隼人の風」がラストランを迎えました。2004年3月より18年にわたり運行されてきました。沿線や駅では、多くの鉄道ファンが一緒にカメラのシャッターを切り、手を振りながら別れを惜しまました。

右上は嘉例川駅の満開の桜の風景です。

コーナー担当
放射線技師 山口



所属長紹介

今回はリハビリテーション課をご紹介します♪

通所リハビリテーション課
リーダー
上菌 青樹
唯一の男性スタッフ！！

- Q1:介護職をしていなかったら何をしていましたか？
「歴史関係の仕事をしてたと思います」
- Q2:休日は何をして過ごしていますか？
「猫と遊んだり、買い物をしたりしてますね」
- Q3:ちなみに、猫ちゃんのお名前は？
「諭吉【ユキチ】君と札【サツ】ちゃんです(笑)」(下の写真)
- Q4:趣味は何ですか？
「城めぐり、サイクリングですね！一番遠くて蒲生往復しましたよ」
- Q5:彼女はいますか？
「現在募集中です！自分を持っている、しっかりした女性が好みです！」
- Q6:将来の夢は何ですか？
「お金に苦労しない生活かなあ…。あ、全国の城をめぐりたいですね！」

スタッフからみた上菌リーダー！

- 笑うと可愛い
- 頭が良い
- 器が大きい
- マイペース
- 利用者さんから人気者！
- 優しい
- おもしろい
- ベリーダンスが上手そう！



通所リハビリテーション(デイケア)は、介護職員5名、看護師3名が在籍しています。利用者様が楽しく在宅生活を続けて頂くために、リハビリテーションや入浴、食事やレクリエーションをアットホームな雰囲気ですべてサポートさせていただきます。